令和8年8月12日
記者発表資料

スギ薬局で未病指標と認知症共生アプリ「ワタシテ」を活用し、認知症未病の見える化と行動変容を促進！

県では、体と心と脳の状態を見える化できる未病指標（※1）の活用を推進しています。このたび、スギ薬局の平塚市を中心とした店舗において、薬剤師が、未病指標や「ワタシテ」の測定案内等を行うとともに、未病改善につながる自治体の取組みや店舗商品、未病ブランド等の商品・サービスの案内、医療機関への早期受診勧奨を行うなど、薬局が地域の健康を支える場として、一人ひとりに寄り添った認知症未病改善（※2）の取組みを推進しますのでお知らせします。

○　連携の概要

（1）取組みの背景

令和8年7月 30 日に県と株式会社スギ薬局及びノックオンザドア株式会社で「認知症未病改善データプラットフォーム等に関する基本合意書」（以下「基本合意書」）を締結。

（2）開始時期

令和8年8月下旬から

（3）事業実施場所

スギ薬局4店舗
（平塚市：平塚店・平塚宮松町店・在宅調剤センター平塚店、大磯町：平塚西店）

（4）主な取組み内容

基本合意書に基づき、ノックオンザドア株式会社の提供する認知症共生アプリ「ワタシテ」の中で未病指標の案内や測定結果を表示できるようにしたうえで、実施店舗において、処方箋の待ち時間等を活用して、薬剤師から次の取組みなどを実施

・認知機能等の測定が無料で手軽にできる未病指標のチラシ等による案内
・「ワタシテ」のダウンロードのサポート
・未病指標の測定や「ワタシテ」の入力等のサポート
・未病指標の測定結果や「ワタシテ」の情報等を踏まえて、自治体の取組みや店舗商品、未病ブランド等の未病改善に資する商品・サービスの案内
・認知機能低下等の兆候が見られる方は、認知症疾患医療センターへの案内



神奈川県

（5）今後の取組み

薬局を地域の健康を支える「場」として位置づけ、未病指標と「ワタシテ」を活用し、薬剤師という専門性を持った「人」が、一人ひとりに寄り添った認知症未病改善の取組みを推進していきます。さらに、この取組みを、他の地域のスギ薬局店舗へと広げることで、全国的な展開も目指します。

○株式会社スギ薬局のコメント

スギ薬局は、全国で 2,000 店舗以上を展開し、約 5,000 名の薬剤師と約 700 名の管理栄養士を擁する調剤併設型ドラッグストアを展開しています。地域の生活者の病気予防・介護予防・健康管理に生涯にわたって関わり、健康増進に貢献する「トータルヘルスケア戦略」を推進しています。本取組みでは、当社の薬剤師が「未病指標」やアプリ「ワタシテ」を活用することで、未病段階から気軽に相談できる「かかりつけ薬局」としての役割を果たします。薬局を地域住民と医療ネットワークをつなぐハブ拠点と位置づけ、持続可能なウェルネスの促進を目指してまいります。

○ノックオンザドア株式会社のコメント

今回、「神奈川県」という地域、「スギ薬局」という場所、そして「薬剤師」という想いをもった方々と連携することで、より多くの皆様のお声を伺うことができると考えています。私たちはご高齢の方が、認知症等になっても、その方とご家族がその人らしく、その地域で暮らせるための「ワタシテ」を、地域ごとに異なる環境・課題に実際に触れながら皆様と一緒に創って行きたいと考えています。ぜひ皆様のお声を伺えることを楽しみにしています。

※1　未病指標
自分が健康と病気のグラデーションのどこにいるのか、生活習慣、生活機能、メンタルヘルス・ストレス、認知機能の4領域を3段階評価し、現在の体と心と脳の状態を数値等で見える化するもので、スマートフォンなどで気軽に測定可能。認知機能測定は、単語の記憶と時計描画の検査を組み合わせたスクリーニング検査法である「Mini-Cog」を実装している。
※2　認知症未病改善
認知機能低下に伴う、身体機能低下、精神機能低下の悪循環を未病コンセプトに基づき改善するため、各種機能に関する早期の気付きと、維持・改善・補完などの介入を通じて、総合的に日常生活・社会生活での QOL の維持・向上を目指す、神奈川県の産学公民連携の取組み。

（別添資料1）〈スギホールディングス株式会社発表資料〉
（別添資料2）〈ノックオンザドア株式会社発表資料〉

《SDGsの推進について》

県では、SDGsの達成にもつながる取組みとして、県民の未病を「見える化」し、未病改善につなげる「未病指標」の普及及び「認知症未病改善」の取組みを進めています。







問合せ先

神奈川県政策局いのち・未来戦略本部室
室長代理（未病産業担当）　大久保　　電話 045-285-0047
未病連携グループ　　佐藤（充）　　電話 045-285-0777

別添資料１

NEWS RELEASE

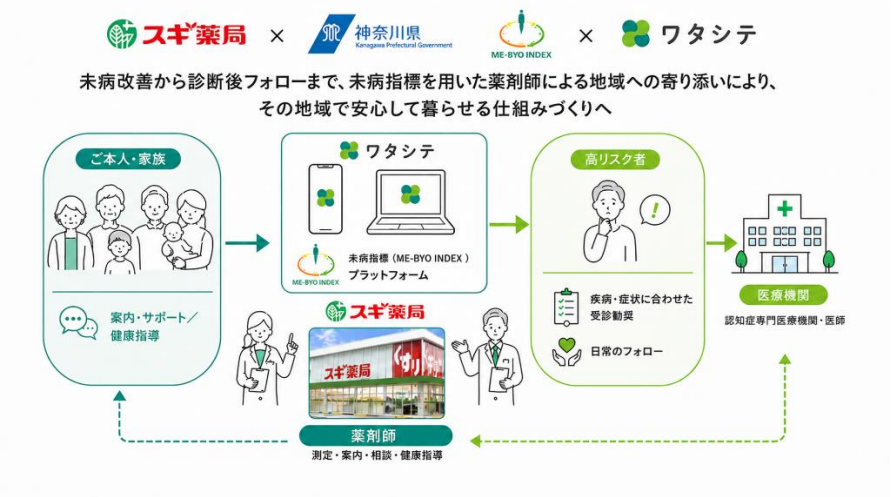
スギホールディングス

2026 年 8 月 12 日
スギホールディングス株式会社

神奈川県、スギ薬局、ノックオンザドアが「認知症未病改善データプラットフォーム等に関する基本合意」を締結

～平塚市を中心に、未病の見える化から改善、受診勧奨、日常のフォローまでをつなぐ仕組みづくりへ～

当社連結子会社である、株式会社スギ薬局（本社：愛知県大府市、代表取締役社長：杉浦 克典、以下「スギ薬局」）およびノックオンザドア株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：林 泰臣、以下「ノックオンザドア」）は、神奈川県と「認知症未病改善データプラットフォーム等に関する基本合意」（以下「本合意」）を締結いたしましたのでお知らせいたします。



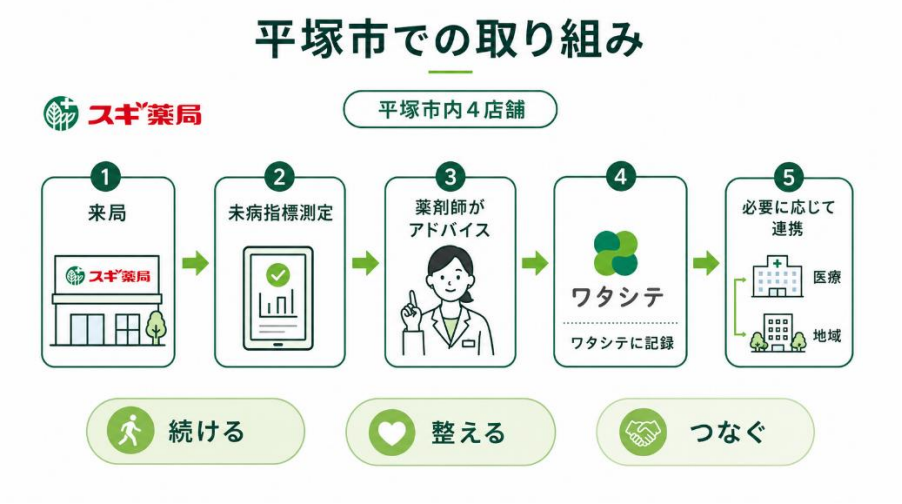
本合意に基づき、神奈川県が推進する「未病指標」と、ノックオンザドアが提供する情報共有プラットフォーム「ワタシテ」を活用し、スギ薬局の店舗と薬剤師を地域の身近な接点として、未病の見える化から改善、必要に応じた受診勧奨、日常のフォローまでをつなぐ仕組みの構築を目指します。まずは、神奈川県平塚市内のスギ薬局 4 店舗を中心に、具体的な取り組みを進めてまいります。

■本合意の背景・目的

スギ薬局グループは、地域の生活者の病気予防・介護予防・健康管理に生涯にわたって関わり、健康増進に貢献する「トータルヘルスケア戦略」を推進しています。本合意では、地域の生活者にとって身近なスギ薬局の店舗と薬剤師を活用し、未病指標による状態の見える化と、「ワタシテ」に記録された本人の情報を組み合わせます。
これにより、一人ひとりの状態に応じた生活改善の提案や受診勧奨を行い、必要な医療や地域の支援につなぐ仕組みの構築を目指します。

■平塚市内のスギ薬局 4 店舗を中心に取り組みを推進

本取り組みは、スギ薬局平塚店、スギ薬局平塚西店、スギ薬局平塚宮松町店、在宅調剤センター平塚店の 4 店舗を中心に進めます。店舗では、処方せんの受け取り時などに未病指標の測定をご案内し、待ち時間を活用して測定します。薬剤師は、測定結果に応じた生活上のアドバイスを行うとともに、未病指標の結果や本人情報を「ワタシテ」に記録します。そのうえで、必要に応じて医療機関や地域資源、各種サービスなどにつなぐ仕組みを検討します。



■3 者の主な役割

神奈川県は、未病指標の利活用に関する資料や未病関連施策の情報提供、本事業の推進に向けた関係機関との調整を担います。スギ薬局は、店舗や薬剤師を活用した本事業の推進、未病関連施策の普及啓発への協力、連携スキームの研究・提案を担います。ノックオンザドアは、「ワタシテ」の活用、未病指標との連携スキームの検討・構築、本事業の推進に向けた関係者との連絡・調整を担います。

具体的な取り組み内容については、今後 3 者で協議しながら進めてまいります。

■「ワタシテ」について

「ワタシテ」は、ノックオンザドア株式会社が提供する情報共有プラットフォームです。ご高齢の方や認知症のある方の、これまでの歩みや大切にしていること、日々の体調や暮らしの様子を記録・共有することで、その人に合ったコミュニケーションにつなげ、地域で自分らしく暮らし続けることを支えます。

URL： https://watashite.site/

■今後について

本事業は、平塚市を中心に神奈川県で展開し、神奈川県外への広域展開も視野に入れています。スギ薬局は、店舗と薬剤師の専門性を活かし、神奈川県、ノックオンザドアと連携しながら、地域の生活者が未病の段階から必要な支援につながり、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる仕組みづくりを進めてまいります。

【本件に関する問合せ先】
スギホールディングス株式会社　コーポレートブランディング部　コーポレートコミュニケーション課
〒474-0011　愛知県大府市横根町新江 62 番地の 1
TEL：0562-45-2700（代表）平日 9:00～18:00

プレスリリース

別添資料２

2026年8月12日

神奈川県・スギ薬局・ノックオンザドアが
認知症未病改善データプラットフォーム等に関する基本合意を締結

～平塚市を中心に、未病の見える化から改善、受診勧奨、日常のフォローまでをつなぐ仕組みづくりへ～

ノックオンザドア株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：林 泰臣（はやし ひろおみ）、以下「ノックオンザドア」）は、神奈川県および株式会社スギ薬局（本社：愛知県大府市、代表取締役社長：杉浦 克典、以下「スギ薬局」）と、「認知症未病改善データプラットフォーム等に関する基本合意」を締結しました。



本合意に基づき、神奈川県が推進する「未病指標」と、ノックオンザドアが提供する情報共有プラットフォーム「ワタシテ」を組み合わせ、スギ薬局の店舗と薬剤師を地域の身近な接点として、未病の見える化から改善、必要に応じた受診勧奨、日常のフォローまでをつなぐ仕組みの構築を目指します。
まずは平塚市を中心に、3者で具体的な取り組みを進めます。

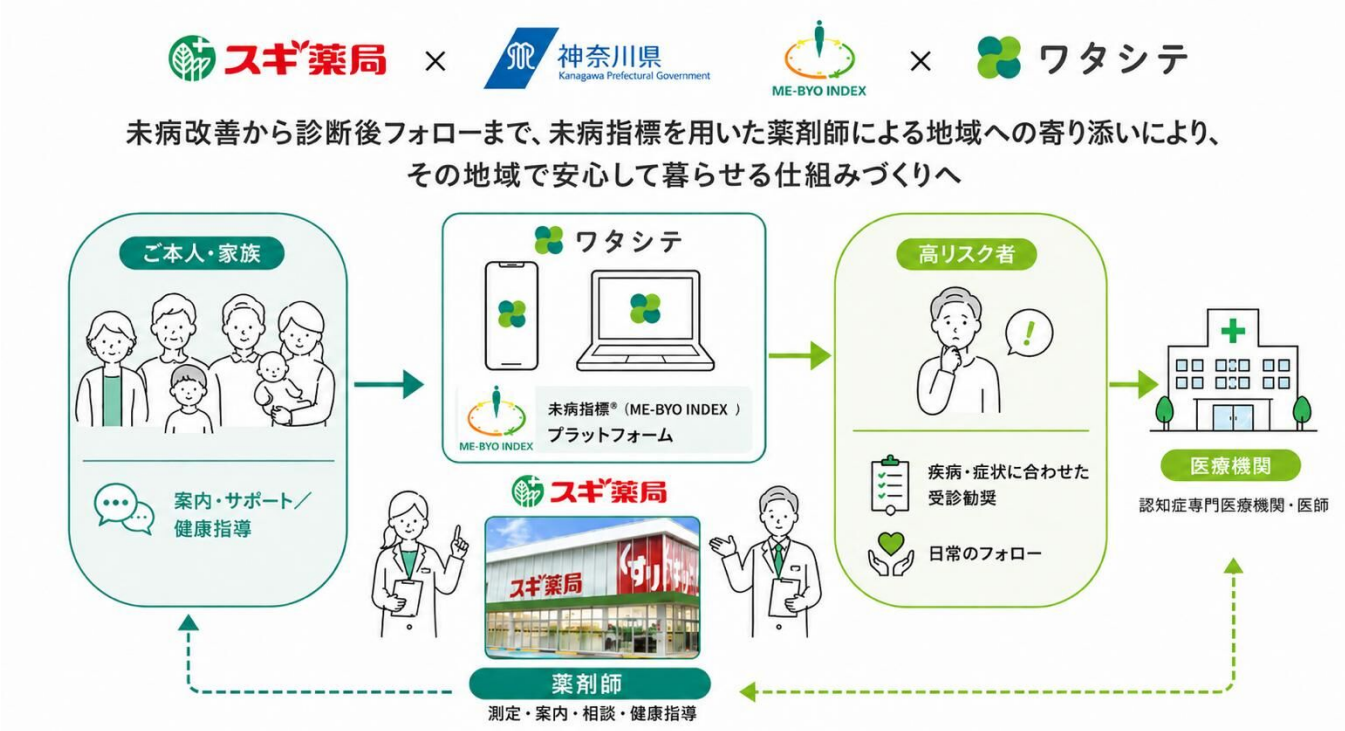
■お問い合わせ・取材申し込み先　ノックオンザドア株式会社
〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町一丁目7番6号 ヒルトップ神田ビル　時間：10:00～18:30
TEL：03-6820-0931　担当：河田宏一 kawata_k@knockonthedoor.jp 携帯：090-5044-3262
※取材のお問い合わせ、詳細データの提供をご希望の方は、上記までご連絡ください。

KNOCK ON THE DOOR

Copyright (c) KNOCK ON THE DOOR Inc. All Rights Reserved.

●未病の見える化から、必要な支援につなぐ

今回の取り組みでは、神奈川県の未病指標を活用して現在の状態を見える化し、その結果に応じて、生活改善の提案や医療機関への受診勧奨、地域の支援などにつなげます。さらに、「ワタシテ」を活用して本人の情報を記録・共有することで、測定時の結果だけではなく、日々の体調や暮らしの様子も踏まえた支援につなげる仕組みを検討します。未病の段階から状態を知り、必要なときに医療や地域の支援につなぎ、その後の日常もフォローする。この一連の流れを地域の中でつくることが、本合意の目的です。



●平塚市内のスギ薬局4店舗を中心に取り組みを推進

平塚市では、次のスギ薬局4店舗を中心に取り組みを進めます。スギ薬局平塚店、平塚西店、平塚宮松町店、在宅調剤センター平塚店の各店舗では、処方箋の受け取り時などに未病指標の測定を案内し、待ち時間を活用して測定します。薬剤師は測定結果についてアドバイスを行い、未病指標の結果や本人情報を「ワタシテ」に記録します。そのうえで、結果に応じて、医療や地域資源、各種サービスなどにつなぐ仕組みを検討します。

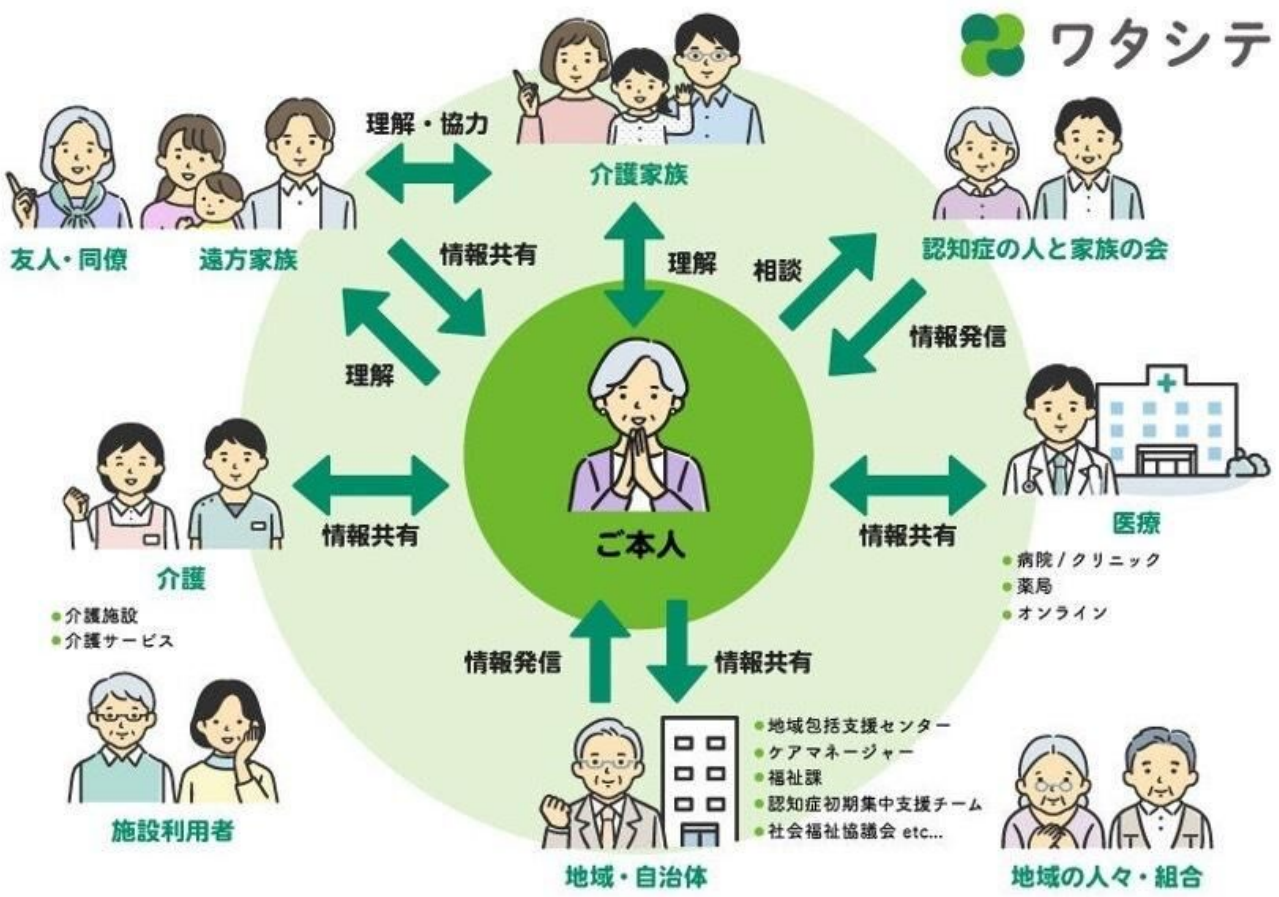


Copyright (c) KNOCK ON THE DOOR Inc. All Rights Reserved.

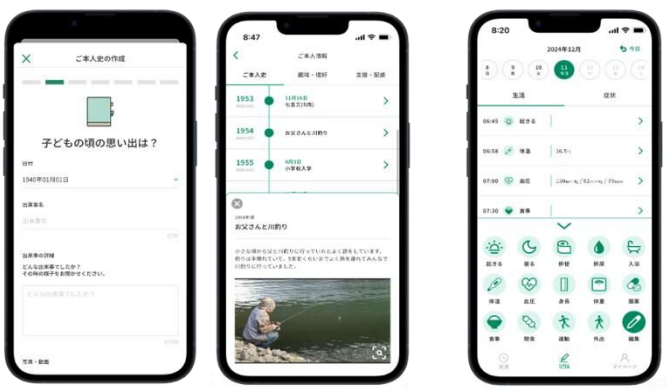
KNOCK ON THE DOOR

●ワタシテについて

ワタシテは、ご高齢の方や認知症のある方の、これまでの歩みや大切にしていること、日々の体調や暮らしの様子を記録・共有することで、その人に合ったコミュニケーションにつなげ、地域で自分らしく暮らし続けることを支える情報共有プラットフォームです。
今回の取り組みでは、未病指標によって見える化された状態と、「ワタシテ」に記録された本人の情報を組み合わせることで、一人ひとりに合った支援につなげていきます。



■アプリ



ご本人情報の整理・共有

生活・症状の記録

■支援者web



ご本人情報／人生史／生活記録／連絡帳

Copyright (c) KNOCK ON THE DOOR Inc. All Rights Reserved.

●3者の役割

神奈川県は、未病指標の利活用に関する資料や未病関連施策の情報を提供するとともに、本事業の推進に向けた関係機関との調整を担います。スギ薬局は、店舗や薬剤師を活用した取り組みの推進、未病関連施策の普及啓発への協力、連携スキームの研究・提案を担います。
ノックオンザドアは、「ワタシテ」の活用と未病指標との連携スキームの検討・構築、本事業の推進に向けた関係者間の連絡・調整を担います。
具体的な取り組みの内容については、今後3者で協議しながら進めます。

●ノックオンザドア株式会社 代表取締役社長 林 泰臣（はやしひろおみ）

ノックオンザドアはこれまで、難病と共に生きる本人・家族の声を起点に、医療と暮らしをつなぐ仕組みづくりに取り組んできました。
病気や症状だけではなく、その人がこれまでどのように歩み、何を大切にし、日々どのように暮らしているのかを知ることが、その人に合った医療や支援につながると考えています。
今回、神奈川県の未病指標、スギ薬局の店舗と薬剤師、そして「ワタシテ」を組み合わせることで、日常の中にある変化を捉え、必要な支援へつなぐ新たな仕組みをつくることができると考えています。
病気になる前も、病気になった後も、本人と家族が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、神奈川県、スギ薬局の皆様と共に取り組んでまいります。

●今後について

本事業は、平塚市を中心に神奈川県で展開することとし、神奈川県外への広域展開も可能としています。3者は今後、未病指標と「ワタシテ」の活用方法や、薬局、医療機関、自治体、地域の関係者との連携方法について協議を進めます。

●ノックオンザドア株式会社について

ノックオンザドア株式会社は、難病や希少疾患と共に生きる本人・家族の声を起点に、医療と暮らしをつなぐサービスを開発・提供しています。
てんかん患者・家族向けアプリ「nanacara」、医療従事者向けサービス「nanacara for Doctor」、情報共有プラットフォーム「ワタシテ」などを通じ、病気や障害があっても、自分らしく暮らし続けられる社会の実現を目指しています。
https://knockonthedoor.jp/

Copyright (c) KNOCK ON THE DOOR Inc. All Rights Reserved.